

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	北海道医療大学	整理番号	1-5-032
応募テーマ	主として大学と地域・社会との連携の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	地域・大学連携による医療系基本教育 ～ボランティア活動による教育を中心に～		
申請単位	大学全体		
申請担当者	阿部 和厚		
<p>(取組の概要)</p> <p>北海道医療大学は、教育理念に「社会の福祉への貢献」を掲げ、医療や福祉に従事する専門職業人養成を目標としている。このため従来から地域貢献活動やボランティア活動が盛んで、実績をあげてきたが、これらの活動を一層充実して教育理念を実現していくために、平成14年度に大学と地域住民が協同して「ボランティアセンター」を大学のある町内に設置し、学生の地域におけるボランティア活動支援の拠点と体制を整備した。これにより学生のボランティア活動は、町内在宅障害児一時預かりサービスの創設、小中学生の福祉教育との連携、大学の施設利用で知的障害者の生涯教育に資する「オープンカレッジ」の定期的開催など、飛躍的に広がった。これらの学生による多様な社会的活動は、学生の学習意欲を向上し、地域貢献活動をさらに拡大した。このように学生のボランティア活動を、大学全体として授業の中に位置づけて、地域と大学が連携して教育支援する体制を作り出し、地域・大学連携教育を実践している点に大きな特色がある。また、社会との共生・協働を通してこれからの医療・福祉に求められる価値観の育成を図る点も特色である。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、北海道医療大学の教育目的・教育方針である「知育」「徳育」「体育」の理念のもと「社会福祉への貢献」の精神で地域社会と共生協働をめざして時代と社会の要請に応え、地域貢献をしつつ学生の自主性、創造性を育てる実習を通じ専門職業人としての学びをする方法は大変評価出来るものです。</p> <p>学生主導型発案を地域社会の指導者のもとに具現化し実行する方法、そして得られた体験教育を通じて更なる基本的な理論などで、よりその知的増幅を試みている活動そのものは、決して派手な先見性など有するものではありませんが、身近かな問題を取り上げ大学で学び着々と人間形成に寄与している点、いずれも当大学の理念が実践されているものです。</p> <p>この取組は、特にボランティア活動をすべての戦略として用いたことは優れた特色があり、他の大学の参考になる事例です。</p>			